

平成24年度 公益財団法人とやま国際センター事業計画

I 国際化促進事業

1 国際交流事業

計画額 3,995千円

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行う。

助成額：1団体につき1事業限度額10万円（ただし、多文化共生事業は20万円まで）

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力の活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流や国際協力に対する意識啓発、向上を図る。

表彰者数：10件程度

(3) 国際交流フォーラム

国際交流や国際協力に関する講演会を開催する。

時期：7月1日 場所：福光中央会館（なんと国際交流フェスタの開催と同時に）

(4) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供する。

時期：11月10日～11日 場所：CIC

主催：とやま国際センター、JICA北陸、富山市民国際交流協会で組織する実行委員会

2 国際協力事業

計画額 78,296千円

(1) 海外研修員等の受入

① 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定 ブラジル、ロシア 各1名（6月から5カ月）
中国 1名（9月から3カ月）

② 自治体協力交流員

富山県が受け入れる中国からの公務員に対して、滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定 中国 2名（6月から5カ月）

③ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定 ブラジル 1名（6月から5カ月）

(2) 外国人留学生への支援

① 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定 ロシア沿岸地方留学生 1名（4月から12カ月）
中国遼寧省留学生 1名（"）
南米移住者子弟留学生 1名（"）
県立大学遼寧省留学生 1名（"）

② 私費留学生への支援

ア 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生の生活の安定を図るため、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給する。

- 私費留学生（国費、県費留学生、他の奨学金受給者を除く。）
 - ・大学等（在籍1年目） 月額10,000円 支給予定 35名
 - ・大学等（在籍2年目以上） 月額50,000円 支給予定 23名
- 日本語教育機関の学生 月額 3,000円 支給予定 140名

イ 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付する。

- ・助成額：年額12,000円
- ・支給予定：私費留学生 343名
：日本語教育機関学生 140名

ウ 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となる。

(3) NOWPAP支援協力事業

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援する。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

JICAが実施する青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援する。

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- 在外県人会活動費補助金 1,270千円（ブラジル、アルゼンチン、ペルー）
- 南米協会活動費補助金 1,000千円
- 海外移住家族会活動費補助金 4,746千円

3 多文化共生事業

計画額 8,668千円

(1) 外国人のための生活相談等の実施

① 生活相談

県内で暮らしている外国人が日常生活に必要な情報や個人的な悩み等を母国語（6カ国）で相談できるよう、外国人の生活相談員や国際交流員が面談又は電話で対応する。

- 英語 月曜日、水曜日、金曜日
- ポルトガル語 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日
- 中国語 水曜日、木曜日、金曜日
- ロシア語 水曜日、金曜日
- 韓国語 水曜日
- ウルドゥ語 第2、第4金曜日（於 射水市小杉庁舎）

② 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう、三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行う。

(2) 外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

① 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催する。

時期：6月～8月、 10回、 定員：20名程度、 場所：環日本海交流会館

新② 日本語ボランティアのスキルアップ講座 “防災多文化共生教室”

日本語ボランティアと外国人が合同で行う「災害時の避難所運営を体験する」ワークショップを開催する。

場所： 環日本海交流会館

③ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図る

延：50人

④ 日本語ボランティアの研修会等参加費用の支援

地域の日本語教室で活動している日本語ボランティアが、自己研鑽のため文化庁等が行う研修会に参加する場合にその参加費用の一部を助成する。

(3) 日本語指導者育成支援

外国人に対する日本語指導者を目指して自己研鑽に励む者に対しその研修受講料の一部を助成する。

(4) 外国人のための暮らしに役立つ日本語教室—YOMIKAKI 広場

外国人が自立し社会に参加できるように、生活に結びついた「読み書き」の能力を学ぶ教室を開催する。

時期：通年 20回 場所：環日本海交流会館

新(5) 働く人のニホンゴ 講座

在住外国人が心地よく職場で働けるスキルを磨くため、職場で使う日本語、日本の企業文化、雇用制度などを学ぶ講座を開催する。

回数：9回 場所：環日本海交流会館

(6) 外国人が感じた「富山のここが好き、ここが嫌い」の募集

富山県人が気づいていない富山の魅力や外国人が嫌いな点、不思議に感じていることを募集し、これをホームページや機関誌などで紹介する。

(7) 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供する。

時期：毎月 第2土曜日 12回（英語や中国語、ポルトガル語絵本など）

場所：環日本海交流会館

(8) 外国人への防災情報の提供

防災情報を5カ国語で提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を放送する。地震や台風など災害に関する防災情報、国際交流イベントや生活情報のほか各国で流行している音楽なども紹介。

毎月第一日曜日 午後6時から55分間、FMとやまで放送

(9) 多文化共生理解教室の開催

地域に暮らしている外国人住民が講師となって、自国の生活習慣や文化などを紹介するとともに、日頃の思いを地域の日本人住民等へ直接語りかける教室を開催する。

時期：年4回（5月、7月、9月、11月） 場所：市町村の公民館

4 国際理解・研修事業

計画額 4,320千円

(1) 語学講座の開催

講座名	コース名	定員	対象者	時期・回数
中国語講座	入門	30名	一般	5月から3月まで 毎週1回
	初級	30名		
	中級	15名		
韓国語講座	入門	40名		
	初級	40名		
	中級	30名		
ロシア語講座	入門	15名		
	中級	15名		
ポルトガル語講座	初級	15名		

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際交流・国際理解・国際協力を促進する。

講師：国際交流員、JICA職員、とやま国際理解教育研究会、青年海外協力隊OBなど

(3) 国際交流サロン イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語り合う。

時期：毎月第1、第3水曜日 夜7時から90分程度 場所：とやま国際センター談話室

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生等との交流を通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらう。

時期：7月14日(土)～15日(日) 定員：30名 場所：呉羽青少年自然の家

(5) 外国人旅行客おもてなし出前講座

外国人旅行客に対するおもてなしの向上を図るため、県内の観光事業者等が実施する研修に講師を派遣する。

新(6) 国際協力のプロになるためのガイダンス

若者に、国際協力分野への就職に関心を持ってもらうための講座を開催する。

時期：7月～8月頃 定員：50名（高校生、大学生等を対象）

場所：環日本海交流会館

講師：JICA職員や国際協力NGOスタッフ

(7) 市町村職員等国際協力実務者研修

5 情報サービス事業

計画額 2,652千円

(1) 情報紙の発行

① 「What's Happening」

内 容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介
発行言語：英語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、日本語
発行部数：毎月 2,500部

② 「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際交流団体の活動、海外からのレポート、
とやま国際センターの事業等を紹介
発行部数：年4回 各2,000部

(2) 国際交流人材バンク

通訳・翻訳・日本語指導・ホームステイ受入れ・海外事情の紹介ができる人材の登録と紹介を行う。
また、通訳・翻訳者を対象としたレベルアップのためのセミナーを開催する。

6 環日本海交流会館管理運営事業

計画額 12,779千円

① 施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営する。

所在地	：富山市内幸町6-6	
施設概要	：会議室・研修室 交流サロン ボランティア室（図書閲覧・貸出 約6,000冊） 情報コーナー等	
会館日・時間	：月～金曜日（水曜日を除く）	10:00～21:00
	土・日・祝日	10:00～17:00

再掲② 外国人のための日本語ボランティアの育成・支援

再掲③ 働く人のニホンゴ

再掲④ 外国人が感じた「富山のここが好き、ここが嫌い」の募集

再掲⑤ 外国語の絵本よみきかせ親子の会

再掲⑥ 国際交流サロン イングリッシュチャット

再掲⑦ 国際協力のプロになるためのガイダンス外

再掲⑧ 市町村職員等国際協力実務研修

再掲⑨ 国際交流人材バンク

7 富山県大連事務所運営事業

計画額 27,391千円

本県の中国における活動拠点として富山県大連事務所の運営を行う。

職 員：常勤4名(所長：県派遣職員、副所長：県内企業派遣職員 職員：現地採用2名)

II 日本海学推進事業

計画額 13,027千円

(1) 日本海学講座（県内）

年4回：座学3回、野外講座1回

(2) 日本海学シンポジウム

時期：11月 場所：富山市

(3) 大学講座等推進事業

富山大学：「総合科目特殊講義—日本海学—」に講師を4回派遣する。

富山国際大学：「地域文化論—総合学としての日本海学を含む—」に講師を6回派遣する。

富山県立大学：「富山と日本海」の講義に講師を2回、「環境論Ⅰ」の講義に講師を1回派遣する。

富山県大学連携協議会：日本海学に関する公開講座を設置する。

実施回数 3回（各2講座） 開催時期 9月

(4) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学に関する研究、普及・実践活動を行おうとする個人、グループ、団体に対し助成する。

新(5) 高度差4000m 森里海のつながり発見事業

① 高度差4000m森里海フィールド親子教室

富山商船練習船「若潮丸」に乗船し、森里海のつながりなどを学ぶ海洋教室を開催するとともに、立山周辺フィールドで、立山のブナ、杉の森、高山植物、立山信仰等の森里講座を開催する。

時期：7月 対象：小学生5・6年生親子 40組

② 森里海のつながり学習講座

森里海の水・大気、生物・自然環境、文化などのつながりを知る講座を開催する。

時期：8月～ 3回 対象：一般県民

新(6) 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

富山大学極東地域研究センターが行う北東アジア地域の森林資源と森林政策をテーマとする調査研究活動に助成し、その成果を日本海学を通じて広く県民に普及する。

III 旅券関係事業

計画額 44,462千円

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務を行う。

名称	富山県旅券センター	富山県旅券センター高岡支所
所在地	富山市桜町1丁目1番61号(マリエとやま7階)	高岡市御旅屋町101番地(御旅屋セリオ7階)
受付時間	月曜日から金曜日 申請・交付 9:00～16:30 ただし、交付は火・木に限り19:00まで 日曜日 交付のみ 9:00～16:30	月曜日から金曜日 申請 10:00～16:30 交付 10:00～17:30 日曜日 交付のみ 10:00～17:30
閉庁日	土曜日・祝日及び年末・年始（12月29日から1月3日）	